

12/19 組合員学習会



「ワーカーズ(労働者協同組合)を知ってつながろう」を開催しました



埼玉会館会議室およびZoomによるオンラインで、56人(会場31人・Zoom25人)が参加しました。労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団理事・埼玉事業本部部長の成田誠さんに「労働者協同組合」や県内外のワーカーズの取り組みや「支えあいのまちづくり講座」「埼玉協同労働推進ネットワーク」などについて紹介いただきました。さらに、埼玉ワーカーズコレクティブ連合会の活動やワーカーズと連携した生協での活動を報告いただき、共有しました。

2/27 組合員活動交流会



「地域の居場所」「見守りの活動」をテーマに開催しました



グループ交流の報告を共有

コープみらい、パルシステム埼玉、生活クラブ生協、医療生協さいたまの4生協44人が参加して開催。テーマは「地域の居場所」「見守りの活動」とし、さまざまな事例について報告・共有しました。法人化し、多様な人たちが活動を行っている上尾市大谷本郷自治会の取り組み、十文字学園女子大学星野敦子教授の地域のさまざまな主体と協同した取り組みなども報告いただき、今後について考える場となりました。

2/9 埼玉県食品衛生安全局との懇談会



埼玉県食品衛生監視指導計画に基づき、消費者団体が懇談しました



埼玉県7人、消費者団体10人が懇談しました

埼玉県食品衛生監視指導計画結果および計画について、小林製薬の紅麹サプリ事故をふまえ、いわゆる健康食品について、鳥インフルエンザ・豚熱に対する県の防疫対策などの状況について、保健所体制などについての4項目をテーマに開催しました。

2/9 第2回 埼玉県との定期協議



2026年度埼玉県への要望に対する回答を受領しました



埼玉県消費生活課築地良和課長(左)から回答を受領

埼玉県より、7月の第1回定期協議で提出した「2026年度埼玉県予算編成および行政執行に関する要望」に関する回答と2025年度実施の生協指導検査について報告があり、埼玉県生協連および会員生協の取り組みについて報告しました。

2/19 埼玉省委託事業 県内消費者団体研修会③



「消費者として知っておきたいカスタマーハラスメント」をテーマに学習しました



ふれあいキューブ(春日部市)多目的ホールで開催し、会場14人、Zoom16人、計30人が参加しました。2026年7月に施行される「埼玉県カスタマーハラスメント防止条例」の概要について、埼玉県産業労働部雇用・人材戦略課主幹 河村英里香さんに、消費者心理から考えるカスタマーハラスメントについて、関西大学社会学部教授 池内裕美さんにご講演いただきました。

3/5 消費者力アップ学習会



「あなたに届いたそのメール、フィッシングメールかも? ~手口と対策を学ぼう!~」開催



講師のフィッシング対策協議会 林 恵明さん(左)

埼玉消費者被害をなくす会は、埼玉会館会議室およびオンラインにて、消費者力アップ学習会を開催し、49人が参加しました。講師の林さんから、「フィッシング詐欺について知る」「常識は5年でアップデートが必要」「フィッシングメールに引っかからないための行動習慣」「被害に遭ってしまったら」「知識を共有しよう」などのポイントをお話いただきました。

SAITAMA
2026 春号
No.97
(2026年4月発行)

写真ニュース

県内生協の活動を写真で伝える情報誌



埼玉県マスコット「コバトン」

Top News

1/22

埼玉県生協連新春賀詞交換会

大野元裕埼玉県知事をはじめ、県内各界の皆様にご出席いただき、懇親を深めました



吉川尚彦会長理事



大野元裕埼玉県知事



白土幸仁埼玉県議会議長

埼玉県生協連への日頃のご厚情に感謝を伝え、生協への共感を広げ、ネットワークをさらに深めることを目的に、2026年新春賀詞交換会を、ロイヤルパインズホテル浦和スカイバンケットホールで開催しました。大野元裕埼玉県知事、白土幸仁埼玉県議会議長をはじめ、県議会各党派、埼玉県内の関係する団体の皆様と会員生協役員職員63人に出席いただきました。開会にあたり、主催者を代表して吉川会長理事は、昨年の2025国際協同組合年を受けて、国連で10年ごとに国際協同組合年とすることが議決されたことに触れ「10年後を待たずに引き続き、協同組合どうしの連携を深め、地域課題の解決や、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります」と抱負を述べました。また、平和の取り組みでは、被爆・戦後80年を経て「戦争のない状態が今後も続くことを願い、多くの皆さんと一緒に、次世代への継承に取り組む」と話しました。その後、ご来賓を代表して大野元裕埼玉県知事、白土幸仁埼玉県議会議長よりごあいさついただきました。

12/13

2025国際協同組合年埼玉実行委員会記念行事

『ともに生き、ともに働く「平和」と「協同」について考える』 ~映画「医師 中村哲の仕事・働くということ」上映とアフタートーク~



比嘉政浩さんと石橋忠明さんによるアフタートーク



実行委員会共同代表 坂本富雄さん (JA埼玉県中央会会長)



大野元裕埼玉県知事

2025国際協同組合年埼玉実行委員会は、2025国際協同組合年の記念行事として、医師 中村哲さんの映画上映とアフタートークを鴻巣市のクリアこうのす小ホールで開催し、県民、協同組合の関係者200人が映画を鑑賞するとともに、ペンシャワール会の会員で小川町在住の石橋忠明さんと日本協同組合連携機構専務理事 比嘉政浩さんによるアフタートークに聞き入りました。

※ペンシャワール会…1983年に日本人医師の中村哲さんを支援する目的で設立された、パキスタンとアフガニスタンで医療・農業・灌漑支援を行う日本の非政府組織(NGO)



写真ニュース
バックナンバーはこちら



埼玉県生協連
ホームページはこちら

生活協同組合コープみらい

埼玉県に表敬訪問しました



2025年12月16日、コープみらいの概況および社会貢献活動、埼玉県と連携した取り組みを報告するため、大野元裕知事、堀光敦史副知事、横内ゆり県民生活部長、大熊聡県民スポーツ文化局長を表敬訪問しました。地域の居場所づくりや年間70トンのお米寄贈、奨学金事業、市民団体への助成など、主要な活動を報告。知事をはじめ皆様に、コープみらいの活動と、今後の連携強化について、ご理解いただきました。



生活協同組合パルシステム埼玉

沃土会にて「冬のねぎ祭り!」を開催



ねぎの一本焼き▶

2月7日、深谷市にある産直産地の沃土会にて「冬のねぎ祭り!」を開催し、15組41人の家族連れが参加しました。自身の背丈ほどあるねぎの収穫体験や、採れたてを丸ごと焼いた一本焼きの試食などを通じ、参加者は旬の驚くべき甘みを堪能。生産者と食卓を囲む交流やクイズ大会も行われ、大人も子どもも農作業の達成感を味わいながら、日本の食文化を支える生産者の仕事への理解を深める充実した一日となりました。

生活クラブ生活協同組合

3.11を忘れない 福島を考える講演会



会場・オンライン合計60人が参加しました



双葉の会を主催する堀切さとみさん

東日本大震災から15年。2月17日、「原発の町を追われて～避難民・双葉町の記録」の映像制作者の堀切さとみさんを招いて、双葉町の14年間の映像を観てお話を聞きました。原発事故のあと、さいたまスーパーアリーナに町ごと避難し、加須市旧騎西高校での避難後に、ふるさとに帰れずに埼玉に移住された町民の心情やご苦労は計り知れません。県外避難を決断した井戸川元町長のその後の孤立、町民の分断、現在の福島イノベーション構想など、原発事故後の様々な状況を知り、何ができるのか考える機会となりました。

医療生協さいたま生活協同組合

戦争と平和を考える企画 さいたま市で80人参加



さいたま地区Bブロック(さいたま市)では1月25日、「ダニーさんと考える戦争と平和」を開催。パルシステム埼玉とコープみらいの協力、さいたま市教育委員会の後援を受け、約80人が参加しました。イスラエル出身の家具作家であり平和活動家のダニー・ネフセタイさんは、兵役を終え日本に来てさまざまな「気づき」があったことを、ユーモアを交えてお話してくださいました。当生協は平和とくらしを守り、いのちと人権を脅かす戦争や政治に反対し、行動していきたいと思えます。

写真 ニュース

会員生協の取り組み 広がる 県内生協の 多彩な活動

さいたま住宅生活協同組合

住まいの断熱化で 快適な生活空間を



窓の断熱化 施工前

内窓設置による窓断熱

住まいの断熱化が注目されています。国は2023年度より「住宅省エネキャンペーン」による手厚い補助制度を実施し、多くの家庭で窓や天井裏、床下の改修が進みました。補助制度は2026年度も継続予定です。断熱化は光熱費の削減だけでなく、ヒートショックや熱中症の予防にもつながります。快適で安心できる住環境づくりを進めましょう。

こくみん共済 coop 〈全労済〉

第52回「小学生作品コンクール」を実施しました



表彰式で挨拶する近藤嘉本部長



版画部門：埼玉県知事賞「ジャングルジムの達成」(4年生)

こくみん共済 coop 〈全労済〉では、社会貢献活動の一環として子どもたちの豊かな心の成長を願い、1973年から小学生を対象とした作文・版画のコンクールを実施しています。今回も埼玉県内の小学校から作文・版画の両部門あわせて671点の応募をいただき、「埼玉県知事賞」「こくみん共済 coop 埼玉推進本部長賞」をはじめとした各賞を選定し、2月28日に表彰式を行いました。子どもたちが作品制作時に感じた気持ちや気づきを大切に育み、豊かな未来に向かって健やかに成長されることを心より願っています。

生活協同組合・さいたま高齢協

「早稲田シネマ」大入り満員!



市民団体(さいたま高齢協、シニア早稲田連絡会)と三郷市文化会館の共催で映画『ぼけますから、よろしくお願ひします』の上映会を1月15日に開催しました。入場者は目標を大幅に超え317人でした。映画という文化活動で、地域を盛り上げて行こうと企画されました。アンケートでは、ぜひ定例化して開催してほしいという声を多数いただきました。今後も、良い映画を「早稲田シネマ」というブランドで年に数回開催していく予定です。

埼玉大学生生活協同組合

自転車点検会を開催



講義の前に申し込み!



自転車の点検結果を説明中

自転車で通学する学生の交通事故を減らすため自転車点検会を実施しました。2025年12月3日、4日の2日間で計82件の点検・修理を行いました。参加者には自転車の利用ルール・マナーについて記載したチラシをお渡しし、自転車の乗り方を改めて見直してもらうよう促しました。「講義を受けている間に修理してくれて助かった」「頻繁に実施してほしい」などのご意見をいただき、非常に好評でした。